

日本分子イメージング学会機関誌『JSMI Report』投稿規定

本誌は、分子イメージングとその関連領域（核医学・磁気共鳴医学・生体光学・生物医学・放射線医学・全ての臨床医学と歯学・薬学・生物生命科学・分子生物学・化学・物質科学・画像工学・医用工学・物理学・神経科学・腫瘍学・生理学など）を包括し、「生体内での分子プロセスの可視化に関する基礎的・臨床的研究、および開発された可視化手法を利用する応用研究」を推進することを主眼とします。

本誌には、「原著論文」、「総説論文」、「短報」の投稿を受け付けます。原稿は、以下の投稿規定に従って、日本語または英語で作成して下さい。

■ 「原著論文」投稿規定

1 論文の新規性

他誌に既に発表されていないか、投稿中でない原著論文の投稿を受け付けます。筆頭著者は日本分子イメージング学会（以下、本会）の会員に限ります。類似内容の論文を他誌に発表、または投稿中の場合には、別刷（またはコピー原稿）を添付して、その旨を付記して下さい。

2 倫理規定

人体を対象とした研究では、世界医師会のヘルシンキ宣言に述べられているように、科学的小よび倫理的規範に準じ、被検者には研究内容についてあらかじめ十分に説明し、自由意志に基づく同意が必要です。研究課題によっては、所属施設の倫理委員会等の承認が必要です。動物を対象とした研究では、動物愛護の立場から適切な実験計画を立て、全実験期間を通じて飼養および保管に配慮することが必要です。

3 査読方針

論文を掲載するか否かは、複数の査読者の意見を参考にして、編集委員会が決定します。編集方針に従って、原稿の修正、加筆、削除などを求める場合があります。編集上の事項を除いて、掲載論文の内容に関する責任は著者にありま

す。

4 査読用原稿

査読用原稿は、原則として、ワードプロセッサで作成し、「PDF ファイル」に変換してください（変換には Adobe Acrobat を推奨）。PDF ファイル 1 部を電子メールの添付文書、ファイル容量が 10 MB を超える場合は、CD-R または DVD-R の郵送で提出して下さい。

5 印刷用原稿

論文の掲載が決定した場合、印刷用原稿を別途定めた形式でお送り下さい（印刷用原稿書式の細則を参照）。

6 原稿書式

用紙サイズ設定：すべて A4 判を用いて下さい。

書式：用紙の上下左右に 25mm の余白をあけて下さい。フォントは 12 ポイント（原則として、日本語は MS 明朝、英文は Times New Roman、ギリシャ文字は Symbol）、ダブルスペース（行間 2 行設定）として下さい。

ページ番号：タイトルページを第 1 ページとして、順次ページ番号を付けて下さい。原稿の余白（下中央）に印字もしくは手書きして下さい。長さの制限はありませんが、簡潔な記述を推奨します。

原稿は、以下の区分ごとに、新しいページで書きはじめて下さい。表および図は、1 ページに一つの表または図を記載してください。

- 1) タイトルページ
- 2) 要約、キーワード（和文）：英語原稿の場合は不要
- 3) Abstract、Key words（英文）
- 4) 本文
- 5) 謝辞
- 6) 参考文献
- 7) 表および表の説明文
- 8) 図の説明文
- 9) 図（写真）

(転載がある場合は、9) 著作権所有者の使用許可書が必要)

7 査読用原稿書式の細則

原稿の各部分は、以下の諸点に留意して作成して下さい。

1) タイトルページ

原稿の第1ページに、本会が定めた「タイトルページの作成要項」に準じて作成して下さい。タイトルページには、和文で、投稿区分、タイトル、著者名、所属、連絡先著者 (Corresponding author)、連絡先郵便番号と住所、連絡先電話番号と FAX 番号、連絡先電子メールアドレスを記述し、加えて英文で、タイトル、著者名、所属を記入してください。

2) 要約、キーワード (和文)

400 字程度で、論文の概要が具体的にわかるように書いて下さい。要約の下に、和文キーワード (5 個以内) を重要な順に列記して下さい。全文が英語原稿の場合は、和文での要約とキーワードは不要です。

3) Abstract、Key words (英文)

100~200 語で、「要約」に対応させて書いて下さい。Abstract の下に、Key words (5 個以内) を重要な順に列記して下さい。略語や頭字語の使用はできるだけ避けて下さい (必要な場合には初出時にフルスペルが必要)。

4) 本文

原則として、以下の項目順に記述して下さい。

：はじめに、方法、結果、考察

各項目内での細区分には、「太字の小見出し」を用いて下さい。

略語は初出時にフルスペルを記述して下さい [例: central nervous system (CNS)]。

図と表の番号は、「図 1、図 2、表 1、表 2、……」と表記して下さい。文献の引用は、該当箇所の右肩に、上付文字で「文献表」の番号を示して下さい [例: ……の報告がある^{2,3}。]。

5) 参考文献

本文中に引用した文献のみを、引用順に、番号とともに記載して下さい。未発表の成績は印刷中の論文のみを (印刷中) として引用することができます。文献の書誌事項は以下に準じて記載して下さい。

著者名は筆頭から3名までを列記し、それ以後は「, 他」、「, et al」として下さい。外国人著者名のファーストネーム(ミドルネーム)の表記法、ピリオド、コンマ、コロンなどの使い方は、原則として、英文誌 **Molecular Imaging®** (Decker社)の様式に準じます。下記の例を参考にご記入下さい。

(1) 雑誌の場合

著者名：論文標題. 雑誌名 巻数：初頁—終頁, 発行年.

著者名と論文標題は、原文のとおり記載して下さい。

日本語文献であっても、MEDLINE (PubMed)等に公開されている場合は、原則として、英語書式をご利用ください。

雑誌名は、日本語雑誌の場合には各雑誌で決められた略称を、外国語雑誌の場合にはMEDLINE (PubMed)に示された略称をそれぞれ用いて下さい。

〈例〉

Bunshi T, Gazou H, Gakaki J-P, et al. Quantification of hybrid molecular imaging. *Adv Drug Deliv Rev* 2004;21:117-33.

Bunshi T. Research for fluorescence imaging. *J Nucl Med* 2008 (in press).

Bunshi T, Gazou H, Gakaki J-P, et al. [Quantification of hybrid molecular imaging]. *Nihon Zasshi* 2004;21:117-33. Japanese.

分子太郎, 画像花子, 学会次郎, 他. ハイブリッド分子イメージングの定量化について. *JSMI レポート* 25 : 607—619, 1971.

分子太郎. 蛍光画像の研究. 脳と神経 (印刷中) .

(2) 単行本の場合

著者名：書名. 出版社名, 発行地名, 初頁—終頁, 発行年.

著者名：論文標題. 編者名：書名. 出版社名, 発行地名, 初頁—終頁, 発行年.

日本語の単行本で、編者のある場合には編者名の後に(編)：を書いて下さい。

外国語の単行本で、編者のある場合には編者名の前にIn：を、編者名の後に(EdまたはEds)：を書いて下さい。

単行本中の一部を引用した場合は、初頁—終頁を記載して下さい。

〈例〉

分子太郎：分子イメージングの実際 5版. 分子出版, 東京, 235—123, 2003.

画像花子：蛍光イメージングによる内視鏡手術の実際．分子太郎，学会次郎（編）：分子画像 Mook7 蛍光イメージング．分子出版，東京，1—14，2008．
Smith IC. Quantification of hybrid molecular imaging. CC Thomas, Springfield, 2000.
Bush AE. An approach to the study of molecular imaging. In: Aronson SB, et al (Eds): Clinical Methods in Uveitis. CV Mosby, St. Louis, 2004;2:21-40.

6) 表および表の説明文

原則として、A4 判サイズ of 用紙に、ワードプロセッサで作成して下さい。
表の番号と表題（タイトル）を表の頭部に書いて下さい。記号や略語、統計分析結果などの説明は、表の下部に脚注の形で記載して下さい。
縦の罫線（縦ワク）は、原則として、使用しないで下さい。

7) 図の説明文

図の内容が容易に理解できるように、日本語で簡潔に書いて下さい。ただし、図が英語で作成されている場合は、図のタイトル部は英語で記載することが可能です。図の中のシンボル、矢印、略語などについて説明して下さい。

8) 図（グラフ、写真を含む）

図は、必ず電子ファイルで準備してください。査読用原稿では、全ての図表をマイクロソフト・ワード、マイクロソフト・パワーポイント、または Adobe イラストレータで作成し、PDF ファイルに変換してください（Adobe Acrobat 推奨）。この時、本文と連続した単一ファイルでも、本文と図が別の複数ファイルでも構いません。

査読用原稿では、図表の解像度指定はありませんが、印刷用原稿で必要となるため、次章「8 印刷用原稿書式の細則」に従って、図表を準備することを推奨します。

印刷面での図の大きさは、1 段組の場合は横幅が 8.5 cm 以内、2 段組の場合は 17.5 cm 以内になります。

同一論文内では日本語または英語のいずれかに統一して全ての図を作成して下さい。

図の中の線（直線、曲線など）、文字、数字、記号などは、縮小印刷した場合にも判読可能な大きさとして下さい。

患者の写真を用いる場合は、個人が特定できないようにトリミングまたはマスクを工夫して下さい。

9) 雑誌や単行本に発表された資料を転載する場合には、著作権所有者の使用許可書のコピーを添付して下さい。

8 印刷用原稿書式の細則

投稿用原稿と印刷用原稿との主な違いは、図の解像度などの様式です。印刷用原稿の図は、下記の様式で、必ず電子ファイルで準備してください。印刷用原稿書式は、出版社の機器対応によって、変更される場合があります。

1) カラー写真は、イメージモードを「CMYK カラー」に設定し、300 dpi（300 ピクセル／インチ）で画像幅が 12.5 cm になる解像度（横幅が 1500 ピクセル）にて、TIFF または JPEG 形式で保存してください。

2) 白黒写真は、イメージモードを「グレースケール」に設定し、カラー写真と同じ解像度とファイル形式で保存してください。

3) 線画（ラインアート）は、マイクロソフト・ワード、パワーポイント、または Adobe イラストレータ（推奨）で作成してください。その際、外部参照ファイル（リンク）を使用しないでください。線画の印刷物をスキャンする場合は、600 dpi（600 ピクセル／インチ）で画像幅が 12.5 cm になる解像度（横幅が 2100 ピクセル）にて、EPS 形式で保存してください。

4) 記号や矢印の付加など図のレイアウトは、マイクロソフト・ワード、パワーポイントまたは Adobe イラストレータ（推奨）で作成してください。マイクロソフト・ワード、パワーポイントを使用した場合、doc 形式または ppt 形式のファイルで保存し、提出してください。併せて、PDF ファイルに変換したものを同時に提出してください。Adobe イラストレータを使用した場合、EPS 形式（推奨）で保存し、提出してください。

9 日本語および外国語の表記は、原則として、下記に準じて下さい。

1) 医学用語

日本医学会医学用語管理委員会編「医学用語辞典 Japan Medical Terminology, 南山堂 1994 年」に準じて下さい。

2) 外国語

人名、地名、機器商品名などは、原語で記載して下さい。固有名詞、ドイツ語名詞の頭文字は大文字とします。原語表記を必要とする一般語彙は、小文字を用いて下さい（ただし、文頭の単語は頭文字を大文字とします）。

3) 薬品名

薬品名は一般名を用いて下さい。商品名が必要であれば、一般名の後に（……®）と併記して下さい [例：マレイン酸チモロール（チモプトール®）]。

4) 数字

計量単位は、原則として、国際単位系 SI 単位を用いて下さい。なお、マイクロリットル (μl)、ミリリットル (ml)、リットル (l)、 $^{\circ}\text{C}$ は使用できます。ミリメートル水銀柱は SI 単位ではキロパスカル (kPa) となりますが、mmHg と記載して下さい。

10 著作権

掲載論文の著作権は、本会に帰属します。投稿にあたっては、著作権譲渡に同意する旨の書類に、著者全員の署名が必要です。著作権譲渡同意書を使用し、添付して下さい。

11 利益関係

投稿する論文の内容で、取り扱う物品あるいは特定会社が著者と営利的あるいはそれに類似した関係になる場合には、タイトルページに「利益関係あり」と記載し、その内容を明記して下さい。

12 掲載料

掲載料は無料とします。カラーの印刷料金は著者負担とし、1 頁につき 3 万円ほどになります。

13 連絡

編集委員会が原稿を入手した段階で、投稿規定に準じている場合には、受け付けた旨を通知します。査読を終えて、掲載が決定した段階で、受理した旨を通

知します。

1 4 別刷

執筆した冊子の電子ファイル（PDF）を無料進呈します。別刷申し込みは、原則として受け付けません。

1 5 校正

著者校正は、原則として、1回とします。印刷ミス of 訂正を主とし、字句の加筆、削除、変更はできるだけ避けて下さい。大幅な改変のために内容が変化した場合には再査読を必要とすることがあります。

1 6 原稿の送り先

査読原稿の PDF ファイルを、下記に電子メールの添付書類でお送り下さい。紛失事故などにそなえて、原稿のコピーを手元に残して下さい。投稿要領でわからない場合には事務局にお問い合わせ下さい。

原稿送付用電子メールアドレス：

jsmi-apply@molecularimaging.jp

問い合わせ先および CD-ROM 送付アドレス（電子メールで送れない場合）：

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 2 3-3

福井大学 高エネルギー医学研究センター内

日本分子イメージング学会事務局

TEL：0776-61-8430 FAX：0776-61-8170

■ 「総説論文」投稿規定

特定のテーマに関する文献を集めて分析検討した総説論文を受け付けます。筆頭著者は本会の会員に限ります（ただし、依頼総説を除く）。

査読方針、編集方針、および原稿の作成および送付先は、「原著論文」投稿規定に準じて下さい。

■「短報」投稿規定

分子イメージングに関する簡潔な報告を扱う短報を受け付けます。筆頭著者は本会の会員に限ります。

査読方針、編集方針、および原稿の作成および送付先は、下記を除いて、「原著論文」投稿規定に準じて下さい。

原稿の長さの制限はありませんが、簡潔な記述を推奨します。目安として、本文4ページ以内（上下左右25mm余白。12ポイント、ダブルスペース、図は含まず）としてください。要約400字以内、Abstractは100語以内、キーワードは5個以内、文献は5篇以内とします。図は2点以内とします。表は原則として使用できません。

別に必要な書式

- ・著作権譲渡同意書
- ・著作権所有者の使用許可書
- ・投稿前確認要項